

山里恵子プロフィール・主な活動 石垣市白保出身

舞踊家として 八重山伝統舞踊謹王流 恵の会会主

3歳から舞踊の手ほどきを受け、鳩間節、南嶽節、道頓堀小唄（母大島幸創作）祝いの席や部落の祭事等で踊るようになる。師である浮海のヤギラアツパからタノールのある娘だと褒められたことが舞踊の道へ歩むきっかけとなる。

1982年 堀切トキ師に入門 修練を積み1992年舞踊免状取得

1995年 山里恵子舞踊研究所開設 以降様々なイベント出演

2000年 第一回山里恵子歌と踊りの祭典「母から娘へ」開催

2006年 伊勢神宮千年式年遷宮沖縄文化祭出演 舞踊奉納一回目

2007年 第二回山里恵子歌と踊りの祭典「母から娘へ」開催

2006年 山里恵子舞踊集「舞の心」ビデオ第一巻発売

2007年 伊勢神宮千年式年遷宮沖縄文化祭出演 舞踊奉納二回目

2015年 津軽三味線と沖縄の歌と踊り開催（福井県あわら温泉）

2016年 山里恵子独演会「舞姿」（国立劇場おきなわ）

2022年 第三回山里恵子歌と踊りの祭典「母から娘へ」桜梅桃李開催

他、リサイタル、イベントへの賛助出演やチャリティーイベント、福祉施設への慰問公演など。

八重山伝統舞踊 勤王流

西玉得尚美
山里 恵子
姉妹公演

あね
いもうと

後援
沖縄タイムス社 琉球新報社 八重山毎日新聞社
琉球放送 沖縄テレビ 琉球朝日放送 ラジオ沖縄
在沖白保郷友会 八重山郷友会連合会



八重山伝統舞踊勤王流恵の会
山里恵子独演会

舞女
春風に舞う

後援
沖縄タイムス 琉球新報 八重山毎日新聞社 沖縄テレビ 琉球朝日放送
琉球放送 ラジオ沖縄 在沖白保郷友会 八重山郷友会連合会




八重山の舞踊が数多く披露された八重山伝統舞踊勤王流恵の会の山里恵子独演会
21日午後、国立劇場おきなわ小劇場

親子で古里の舞い披露

勤王流 恵の会
山里恵子会主が公演



創作に白保の香り

山里恵子初の独演会

国立劇場

八重山伝統舞踊勤王流恵 きなわで初の独演会「舞姿の会の山里恵子会主が3月21日、浦添市の国立劇場おきなわ



「古見ぬ浦節・とうばら」と踊る山里恵子（右）と山里静香＝3月21日、浦添市の国立劇場おきなわ

加え、芸能の盛んな故郷石垣市白保の影響を感じさせる創作を披露した。

第1部は勤王流の古典4題と創作「古見ぬ浦節・とうばら」を踊った。娘静香と共演し、里子と村娘の愛と別れを描いた。仲宗根充の円熟の歌に乗せ、思いを込めて踊った。

第2部は白保の棒術を取り入れた「武の舞」で再開。白保獅子保存会も賛助出演した。最後は姉の上里幸枝と「あぶじやーま」を踊った。「アンガマ」の面をかぶり、仲の良い老夫婦をユーモラスに演じた。



3歳のころから入前で踊り、アルシメ（大島の屋号）の「ドゥリシャ」と呼ばれた。現在、八重

会社経営者として忙し日々。決めた。最初の師は母、幸さん。幸さん創作の身大島尚男・幸さんの3女、海のおは（ヤギラアツバ）に踊りの手ほどきを受け、八重山時代は郷土芸能クラブで青春を謳歌し、卒業後、沖縄本島で本格的に踊りの修行を始めた。その時、歌（思い出のまこと）お祭り

1992年に八重山伝統舞踊勤王流の教師資格を取得し、95年に「恵の会」を開設。2000年には、八重山時代は郷土芸能クラブで青春を謳歌し、卒業後、沖縄本島で本格的に踊りの修行を始めた。その時、歌（思い出のまこと）お祭り

本島で活躍する郷友 390



山里恵子さん（八重山伝統舞踊勤王流・恵の会会主）

多彩に活躍の舞踊家

山里恵子さんは、八重山伝統舞踊勤王流の会主として、多岐にわたる活動を行っています。踊りだけでなく、歌や音楽にも関与しています。

プロフィール
やまざと・けいこ 55歳
会社は「スタジオ101」那覇市松山1-35-2-201 電話は098-863-6408

2012年(平成24年) 4月25日(水曜日)

八重山毎日新聞

八重山への郷土愛を披露

山里恵子母娘公演

第2回山里恵子歌と踊の祭典「母から娘へ」公演が、8日午後6時から重山伝統舞踊勤王流の舞



「驚ぬ鳥節」で山里会主(左)が娘の静香、孫の修也と共演した＝8日夜、パレット市民劇場

写真。A4判の記念誌には、本土復帰もない時期にスタートし、30年間継続してきた同会の歩みを収

録。親族が苦楽を共にした思い出の写真、各家族の歩み、慶田盛家系図、ウツザ通信などで構成され、親族の歴史が収められている。

編集を担当した慶田盛泰八氏は「記念誌は、ウツザが寄り合ってきた360回りの記録であり、一族の宝になる。かけがえないファミリーの二層の発展を祈念したい」と述べた。



●情報をお寄せ下さい●
八重山毎日新聞那覇支局
TEL&FAX.098-868-1105

山里会主は「いいわが娘よ、人生という舞台に大きく羽ばたけ」との思いを込め、勤王流を基本に創作した「驚ぬ鳥節」で、娘と孫との本公演にふさわしい舞いを見せ、会場から盛んな拍手が送られた。

石垣市白保出身で八重山舞踊勤王流恵の会の山里恵子会主は、日本歌手協会認定のプロ歌手としても活動。公演では4人娘たちと第一部は舞踊家、第二部では歌手としてふるさと八重山の心を歌う郷土愛の舞台を披露し、観客を魅了した。

DVD VIDEO

八重山伝統舞踊

勤王流 恵の会会主 山里恵子

舞の心

1 あぶじやーま (上里幸枝 山里恵子)
2 赤馬節 / しゅうら節
3 鷲ぬ島節
4 鳩間節
5 月夜浜節
6 高那節
7 赤またー節 / 揚古見ぬ浦節
8 上原ぬ島節
9 川平鶴亀節
10 小浜節
11 夏花 / サコタアッパ

J里勇吉・金城盛長・長間辰夫 琴/赤嶺和子・名幸子 笛/喜舎場孫好 太鼓/富山多津子 囃子/神山るみ

八重山伝統舞踊 勤王流 山里恵子 舞の心 第一巻

4月 20日石垣市白保で出生。
5歳の時、浮海師匠に師事。部落の祭事や祝いの座で踊る。
4月 八重山伝統舞踊 勤王流「堀切トキ舞踊研究所」入門。
2月 堀切トキ舞踊より八重山伝統舞踊 勤王流 教師免許状を授かる。
1月 山里恵子舞踊研究所を開設。
その後、国立劇場おきなわ他、様々な所で公演。
4月 伊勢神宮式年遷宮沖縄文化祭に出演し、八重山舞踊を奉納する。

1層 COLOR MPEG-2 レンタル禁止 複製不能

4:3 ALL NTSC DVD VIDEO

©2006 KOKUSAI BOUEKI Co., Ltd.

4 939486 070657

SALE ONLY 税込定価 ¥3,990 07-0065

八重山伝統舞踊

勤王流 恵の会会主 山里恵子

舞の心

第一巻

伝統ある八重山の歴史に舞う

伝統舞踊ビデオ

「舞の心」を発売

八重山勤王流恵の会

山里恵子会主

八重山伝統舞踊勤王流恵の会会主の山里恵子が一日、八重山伝統舞踊「舞の心」(三千九百九十円、国際貿易)を発売した。山里は「勤王流の踊りを見て、一人でも多くの人に興味を持ってもらい、八重山の伝統芸能をもっと身近に感じてほしい」と呼び掛けた。

「奉納舞踊として発展しながら沖縄の伝統舞踊の古

い形を残してきた」という八重山伝統舞踊勤王流の踊りを中心に「あぶじやーま」「月夜浜節」「高那節」「上原ぬ島節」「川平鶴亀節」など、全十一演目を収録。「八重山の踊りを一つの記録として残しておきたかった」と山里。現在、創作舞踊を中心にした二作目の制作を計画中という。

山里は「舞うことは体と心の調和を保ち、人生の支えとなってきた。八重山の舞踊にはまだ埋もれた踊りや歌もたくさんある。踊れる限りそれらを引き出し、皆さんに見てもらいたい」と話した。

ビデオの問い合わせは、電話098(863)6408。

山里恵子会主と4人の娘が公演

8日、パレットで

八重山伝統舞踊勤王流恵の会・山里恵子会主「写真II」の第二回公演「歌と踊の祭典」母から娘へ」が八日午後六時半から

第42回琉球古典芸能コンクール審査講評

八月二十九日、琉球新報社を訪れた山里会主は「母・娘でつくる和やかなステージを見て、家族のきずなの大切さなどを考えてほしい」と話し、来場を呼び掛けた。

前売り二千五百円、当日三千円。

問い合わせはスタジオオリジナル曲や歌謡曲といった多彩な演目が並ぶ。

3) 6408。



母娘公演をPRした山里恵子会主＝4日、那覇支局

「母から娘へ」公演

山里恵子八重山舞踊勤王流恵の会

8日、パレット市民劇場

【那覇】第2回山里恵子歌と踊りの祭典「母から娘へ」公演が、8日午後6時から那覇市のパレット市民劇場で開催される。山里会主は「芸を極めるのが厳しく、好きな道で人生のいろいろなことを学んできた。芸事を通して親子のつながり、家族のきずなを子どもたちに伝えたい」と述べ、公演への来場を呼び掛けた。

公演では、山里会主を

山里恵子歌謡の祭典

オリジナル曲
思い出のふるさと・お祭り太鼓

2000年7月15日(土)
昼2時・夜6時30分

パレット市民劇場

主催：山里恵子芸能企画
後援：琉球新報、沖縄タイムス社、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送、石垣市ケーブルテレビ、沖縄ケーブルネットワーク、ラジオ沖縄、FM沖縄、在沖白保郷友会、八重山郷友会連合会

友情出演：泉川明美、張建国

お問い合わせ先：TEL098-840-1552・携帯090-1944-6593

3 曜 料 ・ 前 売 券 2,500 円 ・ 当 日 券 3,000 円

第二回

山里恵子歌謡の祭典

～あれから七年～
～母から娘へ～

007/8 SAT

会場 パレット市民劇場

PM6:00開場 PM6:30開演

●チケット 前売り ¥2,500
当 日 ¥3,000

主催/山里恵子芸能企画(有)スタジオ1011
後援/琉球新報、沖縄タイムス、琉球放送、沖縄テレビ、ラジオ沖縄、NHK沖縄放送局、沖縄ケーブルテレビネットワーク(株)、琉球朝日放送、(社)日本歌手協会、在沖白保郷友会、八重山郷友会連合会、八重山毎日新聞社

お問い合わせ) 有限会社スタジオ1011 Tel.098-863-6408 那覇市港町2-16-1-4F
<http://www.studio1011.co.jp/>

津軽の響きと
仲縄の歌と踊り

津軽民謡・津軽三味線 重造流家元
今重造

第一部
鷺の鳥節
鳩間節
揚古見の浦節
瓦屋
独唱二題
遊び唄
山崎のアブジャーマ

第二部
津軽民謡・津軽三味線

八重山伝統舞踊勳王流恵の会会主
山里恵子

西玉得尚美 山里静香 東川平 成人 和田 信一 宇保朝輝 国吉昭子

9月18日(火) 19:00 開演

お食事代:8,800円(入浴料込)
場所:「伝統旅館のぬくもり 灰屋」横井県あわら市温泉2-205

思い出のふるさと・お祭り太鼓

山里恵子

さよならのビギン
雨の宮古島

山里恵子

山里恵子が「花」を熱唱 東京

第9回 紅白「輝け!歌の祭典」に出演

日本歌手協会(青木光一会長)主催の第9回紅白「輝け!歌の祭典」が4月16日、東京・中野サンプラザホールで開催された。地域で地道な歌手活動をし、歌唱力もありながら、メジャーとして全国展開までには至っていない歌手にメジャー進出のきっかけとなる場を与えるための祭典。昼夜二部に男女17組が自慢のソングを披露したが、沖縄からただ一人山里恵子さんが昼の部に出演して「花」を熱唱し、盛んな拍手を受けた。この祭典は大手有線テレビ放送がスポンサー、男女各10組が後日、オンエアされることになっている。

田代美代子、湯原昌幸が総合司会、紅組ベギー・葉山、白組榎幸男の両歌手協会副会長がキャプテンとなり、オリジナルや持ち歌を披露した。山里さんは紅組の4番目に登場、華やかな声で「花」を歌った会場には夫の萬原圭一氏(スタジオ101)社長や友人の友利南(新川南事務所)・藤子さん夫妻ら沖縄からの応援(約20人)が陣取り両手を振って応援した。紅白形式の歌合戦であり男女の上位10人は秋の歌謡祭典への出場が認められ、その中から男女各一人にグランプリ「歌手協会奨励賞」が贈られる。

昼の部には五月みどり、弘田三枝子、青木光一らがゲストで出演、会長の青木光一、ベギー・葉山、榎幸男両キャプテンも衣装を変えて熱唱した。



「花」を熱唱する山里恵子。東京・中野サンプラザ



フィナーレで解散した出演者たち。中央キタライの男性から左に5人目が沖縄からただ一人出演した山里恵子

紅組



山里恵子(初)

①沖縄県石垣島
②平成12年「思い出のふるさと」
③幼少の頃より青い海と豊かな自然環境の中、沖縄の歌と踊りに親しんできました。5才の時に琉球舞踊の手ほどきを受け、村の祝事行事の際舞台上で踊り、お年寄りの間で「踊りしゃ(ブドウリシャ)」と人気者になりました。平成4年舞踊師匠免状取得。舞踊活動の傍ら歌い手としてデビュー。琉球舞踊をアピールしながら自分らしさを演出できる歌い手になりたいです。昨年末にはディナーショーを催し成功いたしました。



MONTHLY PHOTO NEWS

オキナワグラフ

THE OKINAWA GRAPH MAR. 2004



国立劇場おきなわが開場
シンパネットワーク誕生
04年泡盛の女王決まる

上原清善記念碑建立 飯岡町(千重恵)に
沖縄砂利会館が落成
私のアルバム 名幸諄子
オキナワグラフの表紙を飾ったところ 小渡成子さん

3

第9回「輝け!歌の祭典」

(昼の部)		(夜の部)	
(総合司会) 田代美代子		(総合司会) 湯原昌幸	
紅組	白組	紅組	白組
(キャプテン) ベギー 葉山	(キャプテン) 橋 幸夫	(キャプテン) 橋 幸夫	(キャプテン) 橋 幸夫
喜多川千舟	父娘坂PART2 (先攻)	藤原 浩	しあわせ迷子
藤乃 あや	無法松の一生 (度胸千両)	山田龍二&大輔	鴉 (都会の若者)
相澤めぐみ	面影	吉富 忍	ロマンチック・ラブ
亜紀ひとみ	魅惑野恋歌	下北 龍一	熱海慕情
秋山 洋子	憂気楼	坂本 数馬	忘却
遠藤 蓉子	お父さん	京一夫&ちづる	夫婦で乾杯!
サナ レイ	泣かないで	オヨネーズ	麦畑
田代美代子	愛して愛して愛しちゃったのよ	湯原 昌幸	冬桜
山里 恵子	花	下北 二郎	津軽
みずき小夜子	讃岐の角造さん	柳 一郎	笑おじゃないか
樹立 みか	人生一路	山田 寛一	おやじの詩
弘田三枝子	私が死んだら	菅原 洋一	今日でお別れ
金沢 明子	イエローサブマリン音頭	鏡 五郎	忍び拳
緑大 桂世	やまゆり	大木 一馬	男花
和 サカエ	流恋花	滝沢のぼる	愁恋譜
飯野のりこ	哀愁の二人	清澄 三郎	おとこ鳥
建石 夢子	東京夜霧	美森あきら	愛のふれあい
五月みどり	一週間に十日来い	青木 光一	僕は流しの運転手
蘭 美智子	フランチェスカの鐘	佐川はじめ	イヨマンテの夜
小谷じゅん	こんな女でいいですか	宇山 保夫	暖簾 (のれん)
琴 けい子	男の花道~玄碩と歌右衛門~	柏木 隆之	年輪
春日 恵美	望郷じよんがら	福田 忍	津軽のふるさと
浜 より子	能登の港唄	川島 一成	島唄
ベギー・葉山	島原の子守唄	橋 幸夫	おけさ唄えば

第10回「輝け!歌の祭典」出演者

4月21日 (昼の部) (12時開演)

紅組 (キャプテン) ベギー 葉山		白組 (キャプテン) 湯原 昌幸	
二 葉 百合子	飯 野 のりこ	青 木 光 一	清 澄 三 郎
五 月 みどり	小田倉 洋 子	菅 原 洋 一	佐 川 はじめ
島 山 みどり	和 サカエ	三 田 明	下 北 龍 一
芹 洋 子	琴 けい子	宮 路 オサム	滝 沢 のぼる
五 島 有 紀	志 麻 一 美	(前年度奨励賞受賞者)	藤 川 準
—	千 波 裕 美	(前年度歌壇賞受賞者)	川 島 一 成
—	服 部 良 子	—	三 輪 ひろし
相 澤 めぐみ	藤 美詠子	—	山 川 哲
亜 紀 ひとみ	星 有 子	—	琉 たくし
秋 山 洋 子	美 咲 光 里	—	—
明日香 ゆう子	緑 大 桂 世	—	—

4月21日 (夜の部) (5時開演)

紅組 (キャプテン) ベギー 葉山		白組 (キャプテン) 湯原 昌幸	
二 葉 百合子	近 藤 はるみ	青 木 光 一	加 藤 おさむ
島 山 みどり	砂 川 京 子	三 田 明	貴 津 章
青 山 和 子	関 洋 子	宮 路 オサム	辰 巳 幸次郎
芹 洋 子	千代田 優 子	島 羽 一 郎	田 中 ひろし
喜多川 千 舟	東 地 美 佳	(前年度奨励賞受賞者)	新 田 晃 也
—	成 田 ふじ美	(前年度歌壇賞受賞者)	藤 川 準
—	野々村 あ い	(前年度歌壇賞受賞者)	—
秋 元 絹 子	博多川 史 帆	—	—
大 林 杏 奈	長谷川 桂 子	—	—
か ず まり子	浜 より子	—	—
五 条 タ 子	山 里 恵 子	—	—



パシフィックホテルディナーショー



第一回ディナーショー記念撮影